



かみとんだ

議会だより



2023.6 No.182



岩田小学校三年生(当時)「みんなで協力 ごみ拾い大作戦」の様子

- 一般質問P1 ~ 4
- わたしはこう判断P5
- 一般会計予算P6
- 委員会レポートP7・8
- 政務活動費収支報告P9
- インタビュー / 編集後記
.....ウラ面

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会
 〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763
 TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

広報モニター募集開始!
詳しくは10ページ!



平田 美穂 議員

1. 認知症施策の推進について
2. ケアマネージャーの支援体制について
3. 上富田町の人口問題について



YouTube QR コード

上富田に
来てもらおう!

認知症施策の推進について

問 認知症ケアパスの作成において、円滑なサービス提供につながるよう、認知症を患うご本人や家族の状況を的確に把握するためどのような手法を用いているか。又、現状の課題は何か。

答 ご本人やご家族の状況把握は、まずは原因等の早期発見のため、医療機関受診を勧め、症状、既往症、服薬状況、困っていることなどを聞き取りした上で必要な支援を検討していく。町では認知症ケアパス(※1)を「認知症ガイドブック」という名前で作成している。課題として、一般の方、ご家族向けの内容となっているため、診断された本人が参考にできる内容が少ないことで、次回作成にむけて検討が必要である。

問 認知症において在宅でのケアを選択した場合、認知症当事者の生活の質がどの程度確保されているかを客観的にどの立場の方が判断し、どの段階までの介護が妥当であるとしているか。

答 ケアマネージャーにケアプランの作成を依頼する。状況に変化があったとき、または一定の期間ごとにケアプランの見直しが行われる。支援がスムーズにいかない困難なケースは地域包括支援センター職員も加わり、共に課題解決に向けている。

ケアマネージャーの支援体制について

問 ケアマネージャーに限らず、介護職員の人材不足の問題がある。町はどのような協議をされているか。

答 介護人材の不足については深刻な問題と捉えている。町内ケアマネージャーが集まるケア会議などで介護人材の確保に関する意見交換が行えないかなど検討していきたい。

問 ケアマネージャーが無償で、特に時間を要する通院同行をせざるを得ない状況にある。田辺市ではNPO 法人夢咲輝ネットワークがあり、田辺市の助成を受けて病院内の付き添いをしている。これは有償ボランティアで1時間 600円だそうだ。上富田町でも必要ではないか。

答 田辺市のNPOが行っているような軽度者の方への通院付添いの支援など、町ではどのように実施できるか関係団体の方々の意見を聞きながら研究していきたい。

上富田町の人口問題について

問 社人研(※2)の人口ビジョンによれば、近い将来人口減少が予測されている。過疎化に歯止めをかけるべき対策が大変重要である。人の流れを生み出していく仕掛けや取り組みが必要である。上富田町の魅力を知ってもらい、選んでもらうための施策について、これまでの取り組みに加え、新たな事業展開が求められている。交流人口、関係人口を増やすための取り組みとして、教育旅行先で、生徒がホテルや旅館に宿泊せず、一般の民家に民泊し、普段の生活とは異なる自然豊かな地で田舎暮らしを体験するというのがある。上富田町もこの受入れ先となることで地域活性化につながると考えるがどうか。

答 教育旅行は、白浜町日置川の一般社団法人南紀州交流公社が実施している。数年前から日置川地区だけでなく、紀南全体での受入れを始めており、上富田も今年初めて4件の家庭に受け入れて頂いた。令和5年度中には、この受入れ体制を拡大していく予定で準備している。

新しい人の流れを作るため、4月9日には稲葉根王子跡に水垢離場のモニュメントのオープニングを行う。今まで、田辺駅から滝尻までバスに乗り、熊野へ参拝する流れであったが、この水垢離で体を清めてからその後に熊野参拝してもらうというストーリーをもう一度作って、上富田に立ち寄ってもらえるようにしたいと考えている。

(※1) 認知症を発症した場合、不安や心配に対する相談先などの情報提供や支援体制など、サービス提供の流れを地域ごとにまとめたもの。

(※2) 国立社会保障・人口問題研究所





中井 照恵 議員

子どもの未来を
支える

1. (仮称)南紀の台・パブリック地区
コミュニティセンターの役割について
2. 子ども医療費助成の拡充について



YouTube QR コード

(仮称)南紀の台・パブリック地区 コミュニティセンターの役割について

問 R5年度の南紀の台・パブリック地域から朝来小学校に通われる児童数は。

答 R5年度は、朝来小学校の児童数473人の予定。そのうち当地域においては199人の予定で全体数の42.1%となる。

問 南紀の台・パブリック地域の学童保育入所者と待機児童数はどうなっているか。

答 当地域からは61人の入所予定で、あすなる学童保育全体の43%である。4年生以上の12人が当地域の待機児童となっている。

問 児童数が多い地域であり、放課後の子どもたちの居場所になる所が必要ではないか。新しいコミュニティセンターに児童館のような、子どもたちの居場所としての役割を持たせることはできないか。

答 検討課題の一つと考えている。今後の協議で検討していきたい。

問 災害時の拠点避難所としての活用は。

答 現状では拠点避難所としての活用を考えている。

建設予定地 1,070 m²



子ども医療費助成の拡充について

問 最近の急激な物価・光熱費高騰の中、18歳まで医療費助成を拡充していくことは大変意義のあることではないか。町の考えは。

答 子育て支援において重要であると考えている。

問 18歳まで拡充した時、年間どれ位の予算が必要か。

答 試算方法により差が出るが、今年度の決算見込み額から700万円程度が上乗せの予算になると試算し、総額の自己負担分の医療費は5,700万円程度になると考える。

問 保育所民営化が実現した場合の財政的な影響は。

答 民営化の効果は、一般財源で1億2,900万円、普通交付税を除いた実質的な一般財源では4,000万円を毎年見込んでいる。

問 この一部を使い、子ども医療費助成拡充の財源に充てることは可能か。

町長 R5は出産・子育て応援給付金事業に、町単独で2万5,000円ずつ上乗せを行うほか、自費で行う任意接種のおたふく風邪ワクチンの費用の一部助成も行う予定である。そのため、今すぐ実現することは難しいが、今後、県の子育て支援の動向も見極め、私の任期中に実施できるように取り組んでいきたい。





吉本和広 議員

公共施設を
省エネに!



YouTube QR コード

1. CO2削減の町の姿勢について

CO2削減の町の姿勢について

問 自民党と岸田政権は原発の新規建設も行うと、方針を大転換しました。原発のある福井県に対し、関電は2023年度内に「県外のどこに中間貯蔵施設をつくるか」を報告すると約束しています。

関電の所有する土地がある旧日置川町に中間貯蔵施設が持ち込まれる可能性もあります。使用済み核燃料を増やさない方法は、太陽光、風力、地熱などの再生可能エネルギーの抜本的普及と省エネに取り組み、原発ゼロを目指すことです。

地球温暖化対策は、各国でもCO2の削減目標を持ち、取り組みが進められています。地球温暖化対策推進計画は作られたのか。

答 地方公共団体実行計画には「事務事業編」と「区域施策編」の2つがあります。「事務事業編」は、地方公共団体が行っている仕事によって排出される温室効果ガスの排出削減を目指すもので、公共施設等における温暖化対策が中心となっており、すべての公共団体において義務化されています。

まずは「事務事業編」を見直し、「事務事業編」計画の策定及び実行により、町としましては民間事業者や住民の模範となるべくCO2の削減を目指し、率先的に脱炭素への取り組みを行っていききたい。

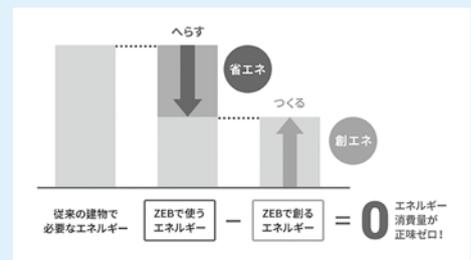
問 太陽光パネルを設置している公共施設は、2施設のみです。町の公共施設に太陽光パネルの設置を進めていくことが必要であると考えます。一時的には費用は掛かりますが、20年30年のスパンで考えると、CO2も削減でき、町の電気予算も削減でき、一挙両得です。

世界各国は、省エネ対策に取り組んでいます。省エネ対策には、熱を逃がさない屋根断熱、外壁断熱、Low-e 複層ガラス(3重ガラス)などの断熱等による外皮性能の向上があります。加えて高効率省エネ機器の導入による空調、換気、給湯、照明(LED照明)の省エネ化があります。建設費の中で増えた省エネ対策の経費は回収できます。

国は太陽光パネルと省エネ対策でエネルギーがまかなえるネット(正味)・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB化)には、対象事業に3分の2の補助を行っています。

ZEB化した岐阜県瑞浪市立瑞浪北中学校などが環境省

のホームページで紹介されています。災害で電気が来なくなった時の防災対策という点でも有効です。



環境省「ゼブポータル」より

南紀の台・パブリック地区のコミュニティセンターの新築は絶好の機会です。国の補助も活用してZEB化やNEARLY ZEB化を検討してはどうか。

答 ZEB化やNEARLY ZEB化については、国が定めた基準となるエネルギー消費量を削減し、省エネの建築物になれば、補助対象となってきます。将来、建物を維持管理していく上では、CO2削減に向けて取り組むことも大事なことです。

南紀の台・パブリック地区のコミュニティセンターは令和5年度に設計し、令和6年度の建築の予定であり、利用できる補助金等を上手く活用し、ZEB化について検討していきたい。

問 新築以外の既存の公共施設である朝来小学校などの学校や公民館などで耐震もすみ今後の使用年がある程度見込まれる施設に、太陽光パネルの設置を順次行うべきではありませんか。自然環境の保全のために使ってほしいとふるさと納税された基金も使って順次CO2削減を行い、自然環境を守るべきではないのか。

答 住民課で策定される地球温暖化対策推進計画の事業実行計画や、町の中長期的な計画も含め、総合的に判断させていただきますが、公共施設におけるCO2削減施策にはふるさと納税された基金を積極的に活用していきたいと考えています。



正垣 耕平 議員

1. エコスタイル (拠点別回収) について
2. 町の人口動態について



YouTube QR コード

「人口増」と「住みやすさ」はイコールか!?

エコスタイル (拠点別回収) について

問 ボランティアさんとの情報の共有、大事です。行政は、ごみ処理に関する情報、取組の状況もしっかりと把握すること。そこに応じた適切な情報の提供が必要ではなかったか。逆に、ボランティアさんからの問題提起や改善の提案にもしっかり行政機関にフィードバックすることで、より効果的かつ持続可能な活動につながると考える。実際に現場を見ると、次の世代にバトンが渡せなくなっていることは明らかです。ボランティアグループと行政機関の協力関係についての認識は。

答 本事業はもともと協働事業として始まり、町の担うべき事業を住民の皆様の力でサポートしていただいていた。事業目的でもある快適で潤いのある生活環境を保つため、リサイクル運動を継続していく。ご参加とご協力をお願いしたい。また、ごみ処理負担を一部の方々に肩代わりしていただくのではなく、少しずつでも多くの方に協力していただき、ごみを削減できるように、行政としても検討、提案していきたい。

町の人口動態について

問 上富田町の今後の将来人口予測についての認識は。

答 現在、社会増となっているが、そのほとんどが田辺市や白浜町など周辺から上富田町に移住しているにすぎず、和歌山県全体はもとより、周辺市町は激減しているので、広域的に見れば全く楽観視できない。人口ビジョンは、上富田町の施策を考える上で非常に重要になるので、令和5年度において、新たな人口ビジョンを作成する予定にしている。

問 人口減少に起因する諸課題の認識は。

答 空き家問題、耕作放棄地問題、山林保全問題、第一次産業や事業所等における後継者問題など、悪化するおそれがある。税収も減少、財政の硬直化が進みます。インフラ整備も心配ですし、公共交通機関も撤退していくおそれがあります。

上富田町においては、まだ廃校等の危機はないとは思われますが、少子化が進み、地域コミュニティの拠点で

ある学校がなくなれば、その地域のコミュニティの崩壊、それに伴う自治活動や防災力の低下が危惧されます。

全国的には、地区全体が限界集落となり、放置された状態の地域も多く見受けられます。また年金や医療など現役世代が支える社会保障制度が揺らいでいきます。高齢者人口が増加し、生産年齢人口や年少人口が減少、このまま推移すれば、現在65歳以上の方を2.9人で支えています、30年後には1.4人で支えていかなければならないという、そういう試算も出ています。上富田町はまだ危機的な状況ではありませんが、諸問題を解決できるよう、今のうちにいろいろな施策を打っていかねばならない、手遅れになると考える。今後もそうならない様、色んな施策や事業に町としてチャレンジを続ける。

問 諸課題の解決に向けた当町の取組みは。

町長 様々、事業展開がある中、一番大切なことは、全ての施策のゴールは、町民の満足度や幸せ度を高めることです。その施策の結果として、定住や移住につながると考えます。デマンドバスに力を入れているのも、その一つです。また、4月から国が創設した出産・子育て応援給付金事業に上乘せする形で、上富田町出産・子育て応援給付金をスタートさせます。いよいよ国も少子化対策に本腰を入れ出したと感じています。将来、人口減少が進んだ際にも持続可能な自治体として存続できるよう取り組んでいく。



3月議会 会期(令和5年3月3日～23日)22日間

3月定例会に町長から提出された案件は、専決処分報告2件、条例関係8件、令和4年度一般会計・特別会計補正予算7件、令和5年度一般会計・特別会計予算9件、一部事務組合の規約の変更1件、土地取得について1件の計28件です。また追加議案として、令和5年度一般会計補正予算1件、人事案件1件の計2件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

私はこう判断 (○賛成、×反対) *議長は採決に加わりません		井	栗	平	大	山	正	家	中	吉	谷	松	櫻	会議の結果
		浜	田	田	石	本	垣	根	井	本	端	井	木	
		港	八	美	哲	哲	耕	合	照	和	清	孝	正	
		斗	郎	穂	雄	也	平	美	恵	広		恵	行	
条例制定	上富田町情報公開・個人情報保護審査会条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上富田町一般廃棄物中間処理施設整備事業費準備基金条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正	上富田町個人情報保護条例の全部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	上富田町情報公開条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上富田町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上富田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上富田町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上富田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
令和4年度補正予算	一般会計	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	特別会計等 国保、後期高齢者医療、宅地造成、奨学、農業集落排水、公共下水道	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度予算	一般会計	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	特別会計 国保、後期高齢者医療、介護保険、宅地造成	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	特別会計等 奨学、水道、下水道、朝来財産区	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度補正予算	一般会計	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	固定資産評価審査委員会委員(1名)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	土地取得、上大中清掃施設組合規約の変更	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議会関係の主なもの	議会の個人情報の保護に関する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	議会の個人情報の保護に関する条例に対する修正案(吉本議員より修正動議が出されました)	×	×	×	-	×	×	×	×	○	×	×	×	否決
	保育士配置の最低基準の引き上げ等を求める意見書	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※専決処分の2件は、地方自治法第180条第1項の規定により町長の専決事項に指定しているため、報告のみ。

人事案件 固定資産評価審査委員会委員

3月末の任期満了に伴う、固定資産評価審査委員会委員の選任につき「同意」とするもの 下鮎川 廣井 哲也 氏(再任)

意見書 「保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書」

少子化が進む中、安心して子どもを産み育てることのできる社会を実現するためには、子どもの健やかな成長を支える質の高い保育サービスの提供と保育の担い手の確保が要である。長年見直されていない保育士の配置基準を見直し、過重な労働環境を改善することで、保育士の確保と定着が可能となり、ひいては、それが子どもの命と安全守ることに繋がると考える。そのために保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求めるもの 【厚生建設常任委員会から提出】



過去最高額 70億400万円

前年比
0.7%増

特別会計

国民健康保険事業	19億4593万2千円	前年比 △1.6%
後期高齢者医療	3億3986万7千円	前年比 △0.5%
介護保険	16億8607万9千円	前年比 3.2%増
宅地造成事業	4926万9千円	前年比 △0.2%
奨学事業	536万1千円	前年比 △17.1%
水道事業会計	7億3455万5千円	前年比 △0.9%
下水道事業会計	6億9993万4千円	前年比 - *

*下水道事業は令和5年度から公営企業会計

その他

朝来財産区	750万5千円	前年比 45.6%増
-------	---------	------------

予算審査特別委員会

委員長 山本 哲也 副委員長 松井 孝恵

第1回（3月）定例会に町から上程された新年度当初予算について、予算審査特別委員会を設置し、付託された一般会計を含む全9議案の審査を行いました。

（審査年月日 令和5年3月3日、14日、15日）

令和5年度 主な新規事業ピックアップ（当初予算額）

庁舎高圧ケーブル機器取替事業
210万円

岡地区公園整備事業
1500万円

地域福祉センターエアコン室外機
修繕整備事業 500万円

子ども・子育て支援事業計画策定事業
300万円

なのはな保育所改修事業
1860万円

出産・子育て応援交付金事業
2250万円

農業振興地域整備計画策定事業
869万円

スポーツセンター改修事業
800万円

防災・安全交付金事業
2450万円

電子黒板購入事業
832万円7千円

詳しくは8ページ

総務文教常任委員会 調査報告

【調査日 令和5年2月21日、3月20日】



常任委員会は、定例会前等を開催され、所管
現地視察などの調査を行っています。

《主な調査項目》

○大型共同作業場払下げに向けた取組みについて

令和5年2月の会合にて、事業主等と現時点での方針等を確認

【内容】共同作業場の目的、またその達成度及び今後について、有償による払下げを念頭に個々の作業場の実態等を確認しながら協議を進める

○令和5年度児童・生徒数について R5.4.1 現在

[町内小学校5校] **合計917名** /前年度 907名

[上富田中学校] **合計415名** /前年度 432名



○(仮称) 南紀の台・パブリック地区コミュニティセンター建設について

令和5年2月に建設用地として土地売買仮契約を締結

【契約金額】

4,500万円

○農地法の一部改正について

農地の権利取得にあたっての下限面積要件は廃止ただし、次の要件は引き続き必要となる

- ①農地すべてを効率的に利用して耕作すると認められること
- ②必要な農作業に常時従事すると認められること
- ③周辺の農地利用に支障を生ずるおそれがないと認められること

○地域づくり事業について

葉根王子跡(世界遺産)前駐車場に
水垢離場のモニュメントを設置
(令和5年4月 オープニングセレ
モニー開催)





する事務について町当局から説明を受ける他、

厚生建設常任委員会 調査報告

【調査日 令和5年2月24日、3月20日】

《主な調査項目》

○災害復旧事業について

令和3年8月より地滑りの被害を受け、現在も通行止めとなっている町道一乗寺加茂線について、国の災害査定を受け、補助事業として復旧することが決定



道路災害復旧工事費
1億6,000万円

町単独事業

令和5年度予算額 750万円

○かみとんだ未来応援給付金の実施について

妊婦・子育て世帯等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービス等の利用負担軽減を図るため、国の「出産・子育て応援給付金」に上乗せするかたちで、町単独事業を実施

国の「出産・子育て応援給付金」

令和4年4月1日以降、妊娠届け出をした妊婦1人につき5万円（出産応援給付金）を、出生した子どもの養育者に対して子ども1人につき5万円（子育て応援給付金）を支給するもの ※申請後、面談を受け、アンケートに回答した方が対象

[事業開始日] 令和5年4月1日

[対象者・支給額]

- ・事業開始日以降に妊娠届を提出した妊婦
 - ・事業開始日以降に出生した児童の養育者
- 子どもひとりにつき

2万5千円

2万5千円



○任意接種への助成について

新規事業

a おたふく風邪ワクチンの費用助成

[対象児] 1歳児

[自己負担額] 2,000円/回(1人1回分のみ助成)

b 带状疱疹(たいじょうほうしん) ワクチン

[対象者] 今年度に50、55、60、65、70歳を迎えられる方

[助成費用] 4,000円(1人1回分のみ助成)



令和 4 年度 政務活動費の収支報告

(単位：円)

議員氏名 <small>(注) 議席番号順。 現職のみ掲載</small>	交付額	支 出 額								収支 差引額 (返還額)
		調査 研究費	研修費	会議費	資料 購入費	事務費	広報費	その他の 活動費	政務 活動費計	
井 溪 港 斗※	60,000	24,800				8,823			33,623	26,377
栗 田 八 郎※	60,000	17,730				10,819	44,000		72,549	0
平 田 美 穂※	60,000	7,144			6,648	17,163			30,955	29,045
大 石 哲 雄※※	60,000	7,400		8,000	37,950	6,930			60,280	0
山 本 哲 也	72,000						130,350		130,350	0
正 垣 耕 平	72,000	12,804							12,804	59,196
家根谷美智子	72,000	17,100	10,000		10,670	3,734	16,571		58,075	13,925
中 井 照 恵	72,000	7,835			60,222	7,908			75,965	0
吉 本 和 広	72,000				7,830		81,450		89,280	0
谷 端 清※	60,000	8,262	65,590		35,000	13,328			122,180	0
松 井 孝 恵	72,000	12,738			40,800	29,706			83,244	0
樫 木 正 行	72,000	11,733			3,876	8,783			24,392	47,608

※ 改選後の任期期間（10ヶ月／6月～3月）分の交付 ※※ 本人申請により、10ヶ月（6月～3月）分の交付

政務活動費は、議員が実施する調査研究、研修、広報、公聴、要請陳情、住民相談、各種会議への参加等、調整の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させる活動その他の住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費として年額7万2千円(月額6千円)が交付されています(先払い方式)。議員は「上富田町議会政務活動費の交付に関する条例」に定める政務活動に要する経費に従い、支出し、翌年度に領収書等を添えて収支報告書を提出します。なお、用途については「上富田町議会政務活動費の交付に関する規則」で規定(限定)されています。

また、支出額が交付額を超えないときは収支差引額(残額)を返還することになり、反対に交付額を超えた分については議員の自己負担となります。

議会だよりにあなたの声を!

令和5年度 議会広報モニター募集

上富田町議会は、町政及び議会のことを町民の皆様にお伝えするため、議会広報紙「議会だより」を年4回発行しています。

より分かりやすく、また、多くの方に手に取っていただけるよう、皆様の声をお聞かせください。ご応募をお待ちしています。

募集人数 10名程度

応募資格

- ・満16歳以上の町民の方(町内に会社や学校があり、通勤・通学をする方を含みます)
- ・町議会の活動等に関心があること
- ・町政及び地域社会の発展に関心があること

(注)ただし、公務員・各種議会議員・各種行政委員(選挙管理委員会・公平委員会・農業委員会・教育委員会・固定資産評価審査委員会の各委員及び監査委員)を除く

応募方法

応募用紙に必要事項を記入の上、議会事務局までご提出(持参・電話・郵送・FAX・メール)してください

※応募用紙は町議会HPにも掲載しています →



応募期間

令和5年5月15日(月)～6月30日(金)

(注)持参及び電話の場合、土・日・祝日を除く、開庁時間(8時30分～17時15分)内にお願います。

出張等により事務局職員が不在の場合は、総務課(11番窓口)に応募用紙をお預けください。お電話の方は、ご連絡先と連絡可能な日時をお伝えください。後日、ご連絡いたします。

選考

書類選考などにより決定します

任期

1年間(再任は1回とし、最長2年まで)

主な活動

- ・議会だよりの発行前と発行後にご意見・ご感想をご提出いただきます
- ・広報委員との意見交換会にご参加いただきます(年1回程度)
- ・モニター説明会にご参加いただきます 等

謝礼

1回のご提出及び意見交換会出席につき、QUOカード(500円)1枚

〈申し込み・問い合わせ先〉

上富田町議会事務局

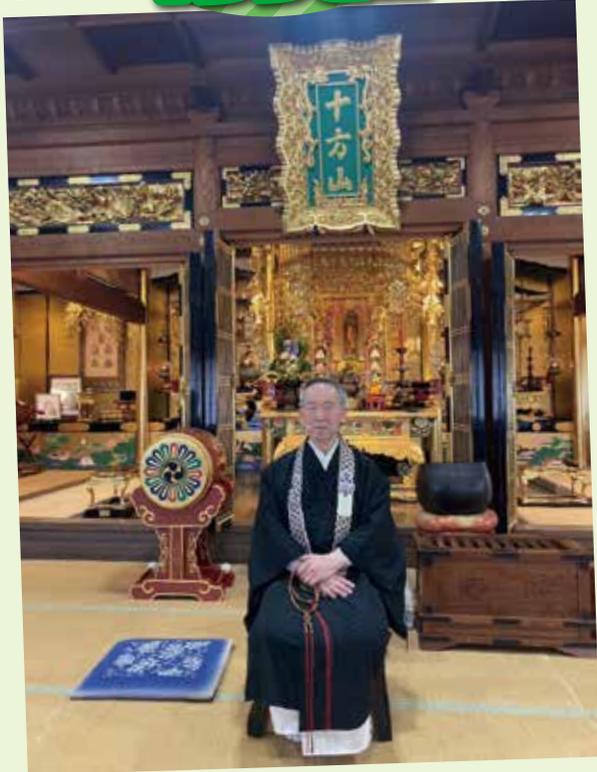
所在地 上富田町朝来763番地 上富田町役場

電話 0739-47-0550(代表) FAX 0739-47-5959

メールアドレス gikai@town.kamitonda.lg.jp



特集 町民インタビュー



妙道寺 北條一穂住職にお聞きしました。

Q お寺の歴史を教えてください。

A 妙道寺は、浄土真宗西本願寺派のお寺です。妙道寺は天文2(1533)年に開基し、本尊の阿弥陀さまは、約500年前に作られたものだと聞いて、上富田町の文化財に指定されています。

妙道寺は、元は光妙寺と号していましたが、明治24(1891)年、和歌山市から浄福寺二男の北

條義晃師が、朝来小学校の教員として赴任し、住職となり、昭和14(1939)年、北條鉄心住職のときに、

本堂を新改築し、寺号を光妙寺から妙道寺と改めたとのこと。

A 住職をして良かったと思つては、

Q 仏様のお話を皆様に聞いてもらうことが嬉しく、話を聞いてもらいたい苦しい時でも、頑張るよ！と言ってもらえることが、私の一番の喜びです。

「お寺カフェ」とは・・・?

社会福祉協議会主催の「まちかどカフェ」がお寺の境内で行われています。



お寺カフェ再開
令和5年6月21日(水)から、お寺カフェを再開いたします。

編集後記

広報委員会では年間4回の議会だよりを発行しています。広報の役割は皆さんに町議会の活動を知っていただくことです。私たち広報委員は取材活動を通じて、議会への理解を深め、人と人とのつながりを広げながら楽しんで活動しています。議会だよりって「おもしろそう」「ためになる」と思っていただけでうれしいです。今後も皆さまに役立つ情報を発信してまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。(平田 美穂)

議会広報特別委員会

委員長	家根谷美智子
副委員長	井 溪 港 斗
委員	栗田 八 郎
委員	平田 美 穂
委員	正 垣 耕 平
委員	中 井 照 恵



町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ



議会 YouTube QR コード

